

2. トピックス

2-1. 災害復旧工事の早期完成

平成29年台風21号、平成30年7月豪雨、平成30年台風21号など、たびたびの大雨により管内北部を中心に大きな被害を受けました（図-1）。



図-2.1 主な大規模災害発生箇所

道路では、大規模な土砂崩れが国道173号の3箇所（能勢町山辺・天王、丹波篠山市福住）で発生し、通行止めとなりました。現在は、暫定的な交通開放を行いながら、早期の本格的な復旧をめざし、工事を進めています。（写真-1～3）

この他、茨木能勢線（能勢町下田尻）、亀岡能勢線（能勢町山内）、吉野下田尻線（能勢町上田尻）で復旧工事を行っています。なお、野間出野一庫線は5月に工事完了しています。



写真-2.1 国道173号 能勢町山辺（左：被災直後、右：現在（暫定交通開放））



写真-2.2 国道 173 号 丹波篠山市福住 (左: 被災直後、右: 現在 (暫定交通開放))



写真-2.3 国道 173 号 能勢町天王 (左: 被災直後、右: 現在 (暫定交通開放))

河川では、一庫・大路次川（能勢町宿野）で護岸が侵食され崩壊しましたが、6月の出水期までに工事完了しています（写真-4）。

その他、田尻川（能勢町下田尻など）、山田川（能勢町山田）、野間川（能勢町野間稲地など）、余野川（豊能町余野）、初谷川（豊能町ときわ台）、大原川（能勢町野間大原など）でも、災害復旧工事を実施していましたが、出水期までに工事完了しています。



写真-2.4 一庫・大路次川（能勢町宿野）(左: 被災直後、右: 工事完了)